

072 江戸時代

元禄時代/正徳の治

5代将軍 徳川綱吉 父の家光から、綱吉は將軍家綱に逆らう弟にならないように、儒学を徹底的に叩き込まれた。
あ大老 堀田正俊 綱吉の師は 木下順庵
側用人 柳沢吉保
側用人は、政治に意欲ある將軍がその手足として使う。蔵人頭みたいな執事。

い 武家諸法度 天和令

文武(忠孝)を励まし、
(礼儀)を尊重すること。

う 社会に残る戦国の気風を絶つ。
主君を家臣が斬捨て御免当たり前
まちに溢れる乱暴な 傾奇者

え 大老・堀田正俊、江戸城中で刺殺。

お 服忌令 制定
父母親族が死去した際の忌引きの日数を定めた法令。

か (極端な) 生類憐みの令 (135の総称)
◎ポイントは「犬を殺すな」ではなく「犬すら殺すな」まして人間を殺すな令であること。ひげ。
◎斬捨て御免→事実上使えなくなる。戦国気風絶つ

き 禁裏御料→2万石を3万石に増加。

く 赤穂 事件
東山天皇の勅使接待役の播磨赤穂藩主浅野内匠頭が儀式を司る(高家)の吉良上野介に江戸城で斬りかかった事件。即日切腹。

け 孔子を祀る 湯島聖堂 を創建。
林鳳岡 (林信篤) ^{だいがくのめい} を大学頭に。

こ 佐渡金山・大森銀山、次第に枯渇
→勘定吟味役 荻原重秀 の献策で
慶長小判2枚を金含有量の少ない
元禄小判 3枚に 貨幣改鑄。
(結果①)莫大な改鑄利益(出目)
(結果②)貨幣供給量が十分実現、^{500万両}
経済活性化→ 元禄文化 も開花。

さ 東大寺大仏殿再建、護国寺創建

し 宝永の大噴火 (富士山)
全国諸大名から 国役 高金 ^{たかきん} を上納
させて、噴火で参勤交代もできない
ほど打撃を受けた小田原藩を救済。

6代将軍 徳川家宣 生類憐みの令廃止

7代将軍 徳川家継

あ侍 講 新井白石
側用人 間部詮房

い 政治課題 (←家宣の急死、幼將軍の就任)

→將軍個人のカリスマによらず、將軍職の地位
と権威を高める。

う 朝鮮通信使待遇問題

・待遇が手厚すぎたと簡素化

・ 日本国大君 → 日本国王 に改称
これまで朝鮮はなぜ日本国王の代わりに日本
国大君という肩書をあつさり認めてきたのか
というと、大君とは朝鮮では皇太子のことで、
格下の表現になるから、白石はこれを問題視。

新井白石の頭の中

日本天皇→徳川氏を 日本国王 に任命
↓ 対等
明朝皇帝→李王家を 朝鮮国王 に任命

う 朱子学の観点から皇室尊重(→將軍権威向上)

・家継と2歳の皇女の婚約

・ 閑院宮家 創設(皇室の安定)

案の定 1779 年に後桃園天皇崩御で本家断絶。
閑院宮家から 光格天皇 即位→現在の皇室。

え 長崎貿易を制限 (日本が輸入してばかりなので)

海船互市新例 (長崎新令)

唐人屋敷 清船 30 隻 銀換算 6000 貫

出島 蘭船 02 隻 銀換算 3000 貫

輸入の支払いは 銅 で行うこと。

朱子学は金もうけ・貿易をいやしむ思想。

お 元禄小判3枚を、金含有量が高品位の

正徳小判 2枚に貨幣改鑄

(結果①)物価下落

(結果②)価値が商品<貨幣

→景気不振、元禄文化終了。